

## II. 調査部会報告(部会長 鈴木 祥広)

### 1. 第16回身近な水環境全国一斉調査実施

平成16年度から「全国一斉水質調査」に参加して、大淀川流域の水質を調査しています。平成31年度は、5月25日(土)～6月16日(日)に調査を実施しました。調査地点は、昨年度と同様に、大淀川本川・支川の定点29か所です。水質項目は、COD、pH、アンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、リン酸態リンの6項目です。表-1に、COD、硝酸態窒素、およびリン酸態リンの28-31年度の調査結果を示します。有機物汚濁指標のCODの結果をみると、大淀川の要監視流域区間の4地点(岳下橋、志比田橋、乙房橋、王子橋)では、乙房橋以外が0mg/Lとなっており、大幅な傾向が認められました。全国一斉水質調査のとりまとめ結果においても、全国的にCODの低下が観測されています。全国のデータを取りまとめている全国水環境マップ実行委員会に出席したところ、この要因の一つとして、調査時期における全国的な降水量の増加が指摘されました。当委員会では、今回の改善傾向に一喜一憂することなく、水質浄化の活動を広めていくことが確認されました。岩瀬川と戸崎川は、依然としてCODが5mg/Lと高く、改善は認められません。一方で、昨年度に8mg/L以上のCODが観測された大淀川の最下流地点の相生橋は、通常のレベルに回復しており、一安心でした。CODの改善と同様に、硝酸性窒素についても全体的に改善の傾向がありました。キットの最高値の4.6mg-N/Lはすべての地点において検出されていません。

これまでの平成22年から31年までの大淀川本川の水質調査結果を調査地点で整理しました。図-1に、大淀川本川の上流・中流・下流のCODを示します。流域全体について大きな傾向のみを評価しますと、平成31年は、調査開始以来、CODが最も低くなっています。調査を継続することによって大淀川の水質汚濁・改善の状況が把握できるので、継続的な水質調査はとても重要です。大淀川の恵みに感謝しつつ、今後も一丸となって水質浄化に取り組んでいきましょう。**※2020年度第16回全国一斉水質調査は、新型コロナ感染拡大の防止に配慮して2020年5月～6月30日の期間で調査できる地点で実施する予定です。**

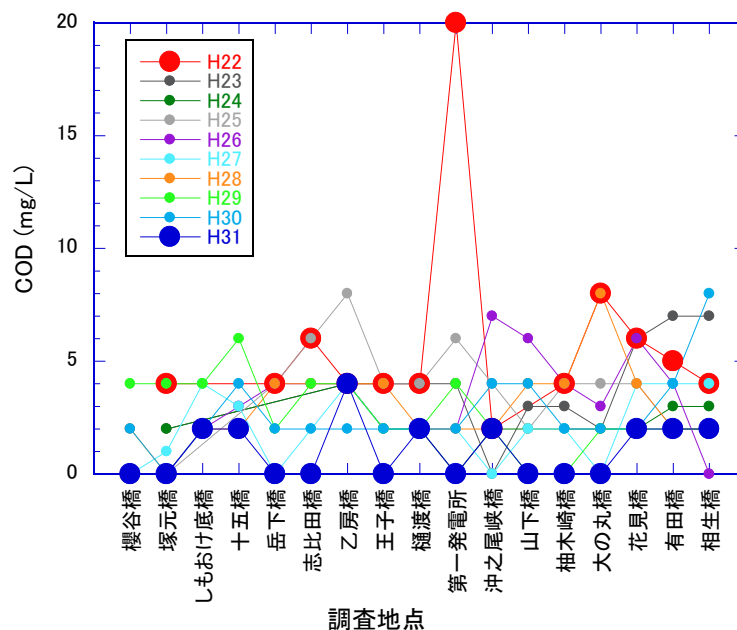


図-1 大淀川本川流域におけるCODの変化 (H22-31年度)

表-1 平成31年度 水質調査結果（調査期間：令和元年5月25日～6月16日）

No.	河川名	地点名	COD低濃度			硝酸態窒素			リン酸態リン		
			H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1
1	大淀川	櫻谷橋	4	2	0	0.23	1.15	0.23	0.02	0.07	0.03
2		塚元橋	4	0	0	1.15	0.46	0.23	0.07	0.03	0.07
3		しもおけ底槽	4	2	2	1.15	1.15	0.46	0.17	0.07	0.07
4		十五橋	6	4	2	1.15	2.30	1.15	0.17	0.07	0.07
5		岳下橋	2	2	0	2.30	2.30	2.30	0.07	0.07	0.07
6		志比田橋	4	2	0	2.3	1.2	1.2	0.07	0.07	0.03
7		乙房橋	4	2	4	2.3	4.6	2.3	0.17	0.02	0.17
8		王子橋	2	2	0	2.3	2.3	1.2	0.07	0.07	0.03
9		樋渡橋	2	2	2	2.3	2.3	1.2	0.07	0.07	0.07
10		第一発電所	4	2	0	1.2	2.3	2.3	0.07	0.07	0.07
11		沖之尾峡橋	2	4	2	2.3	2.3	0.5	0.02	0.03	0.03
12		山下橋	0	4	0	1.2	0.5	1.2	0.03	0.07	0.07
13		柚木崎橋	0	2	0	2.3	1.2	2.3	0.07	0.07	0.07
14		大の丸橋	2	2	0	1.2	0.5	2.3	0.07	0.07	0.07
15		花見橋	2	2	2	0.5	1.2	2.3	0.07	0.07	0.07
16		有田橋	2	4	2	1.2	4.6	1.2	0.07	0.07	0.03
17		相生橋	2	8以上	2	1.2	2.3	0.5	0.03	0.03	0.03
18	菟原川	木前橋	2	2	0	1.2	1.2	1.2	0.07	0.07	0.03
19	年見川	宮丸橋	2	4	0	1.2	0.5	1.2	0.03	0.07	0.03
20	沖水川	下沖水橋	2	2	0	0.5	0.5	0.5	0.02	0.03	0.03
21	横市川	源野橋	2	2	2	2.3	4.6	2.3	0.07	0.07	0.17
22	庄内川	下鵜島橋	4	2	0	2.3	2.3	1.2	0.03	0.03	0.02
23	高崎川	鶴崎橋	2	4	0	2.3	2.3	1.2	0.07	0.07	0.07
24	岩瀬川	岩瀬ダム	2	2	0	2.3	1.2	1.2	0.02	0.02	0.03
26		猿瀬橋	3	6	5	0.5	0.5	0.2	0.02	0.03	0.03
27		岩瀬橋	3	3	5	0.2	0.2	0.2	0.02	0.03	0.02
28	戸崎川	大王橋	5	6	5	0.2	0.2	0.2	0.17	0.03	0.33
29		切畑橋	4	6	5	0.5	0.5	0.2	0.02	0.33	0.02
25	本庄川	柳瀬橋	4	2	4	1.2	0.5	0.5	0.03	0.02	0.03
						NPO法人 大淀川流域ネットワーク					

## 2. 川の通信簿の点検調査に参加しました

開催日：2019年9月12日（木）

国土交通省宮崎河川国道事務所が実施している、川の通信簿の点検調査に参加しました。この調査は、全国の河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において市民と協同でアンケート調査を実施するものです。調査では、点検シートを使って、田吉地区、鶴島地区、水辺の楽校、大ノ丸、向高地区、三本松地区の6カ所で、自然の豊かさや駐車場が整備されているか等を評価しました。

